

ハザーダス・ドラッグってなんだろう？ 抗がん剤を含めた ハザーダス・ドラッグの薬剤曝露に対する正しい理解とその対策 ～薬剤師と看護師の視点から～



【座長】奥 朋子 先生

千葉大学医学部附属病院

2014年2月に新潟市で開催された「第28回 日本がん看護学会学術集会」の教育セミナー「ハザーダス・ドラッグってなんだろう？ 抗がん剤を含めたハザーダス・ドラッグの薬剤曝露に対する正しい理解とその対策」では阿南節子先生と市川智里先生が、ハザーダス・ドラッグに対しての正しい認識と、日常業務で実践できる曝露予防についてご講演されました。

薬剤師の視点から ～医療従事者だけでなく、 院内全スタッフが曝露予防対策の対象～

【演者】阿南 節子 先生

同志社女子大学薬学部 臨床薬学教育研究センター



ハザーダス・ドラッグへの曝露対策は患者とその家族、すべての医療従事者に対する安全確保の視点が必要です。また、抗がん剤以外にもハザーダス・ドラッグは存在することを視野に入れておく必要があります。施設ごとに取り扱っている薬剤はやや異なることから、各施設とも「何がハザーダスなのか」を理解したうえで、国際的なガイドラインを基にして全職員が利用できる施設ごとのリストを作る必要があります。

曝露の主要経路は注入、吸収、吸入、経口摂取であり、頻度としては薬剤の取りこぼし、エア抜き、チューブ交換時のしぶきや飛びはねによる皮膚や粘膜への直接付着の「吸収」が最も多いと考えられて

います。これに加えて患者さんの分泌物や排泄物、入浴時の浴場排水や洗濯物を扱う過程でも曝露が起こり得ることに注意してください。曝露による有害事象として、急性毒性ではめまい、頭痛、顔面紅潮、発疹が挙げられ、ぜんそく様症状、じんましん、感冒様症状などが発現します。急性毒性に対するCSTD (Closed System drug Transfer Device: 閉鎖式薬物混合システム) の効果は目に見えるものであり、CSTD導入によってこれらの症状が皆無になったとの報告も聞いております。一方、医療従事者が直面する低濃度長期曝露によるリスクとしては白血病、乳がん、直腸がんの発がんリスク上昇や流産、死産、不妊、早産や低体重児、学習障害など

の生殖毒性や催奇形性といった発生毒性などが知られています。

曝露対策のための業務管理はあらゆる安全対策の根幹になります。管理者は職員の問題意識を構築し、曝露を低減するための明確な道筋を示さなければなりません。業務管理には指針、手順、スケジューリング、教育訓練、能力の検証、医学的サーベイランスが含まれ、病院組織としてハザーダス・ドラッグの取り扱いに関する指針、手順書の整備が必要です。また、曝露対策の対象者には医療従事者だけでなく、看護助手や清掃・洗濯スタッフ、在宅ケアを含めた全職員、患者およびその家族が含まれることを留意してください。

看護師の視点から ～何から始めるかを考え、仲間とともに取り組みを～

【演者】市川 智里 先生

国立がん研究センター東病院 看護部 (がん看護専門看護師)



日本がん看護学会でも曝露対策の報告が年々増加傾向にあり、会員と各施設の意識の高まりを感じるとともに、個人の枠を越えて組織的に取り組む必要性を実感しています。曝露対策にはすぐに実行に移せるものと導入までに時間を要するものがありますが、今回は容易に実行できるものをいくつか紹介します。

●閉鎖式システムとCSTDの用途の違いを認識して

細菌や異物の薬剤への混入を防ぐ閉鎖式システムと曝露予防のためのCSTDとでは用途がまったく異なります。閉鎖式システムでは気化やエアロゾルを防ぐことはできないため、ハザードス・ドラッグを扱う際にはCSTDを使用することが推奨されています。

●个人防护具(PPE)の正しい装着を

PPEは面倒がらずに適宜取り替えることが大切です。ガウンは糸くずができにくく表面が滑らかなディスポーザブルのもの、手袋は薬剤が付着しにくいパウダーフリーのものがよいでしょう。抗がん薬投与件数が多い施設であれば患者さんの人数からPPEのコストパフォーマンスを割り出して管理者と検討し、ディスポーザブルな製品を導入することも可能です。夏などは暑くなりますが、綿素材やスリットの入ったユニフォームを着用するなど工夫できます。また、フェイスシールドとゴーグルを着用して目より下の位置で作業をする、点滴の取り出しの際に吸水パッドを使う、スピルキットを常に手の届くところに置いておくなどは明日からでも実行できます。

●トイレやリネンにも注意を

薬剤のなかには患者さんの体内に長らく留まっているものもあり、排泄物や分泌物からの曝露にも注意が必要です。当院では患者さんにきれいにトイレを使うようお願いしています。Oncology Nursing Society (ONS) ではリネン類は単独で予備洗浄をした後に一般の洗濯物と一緒に洗浄する、あるいは2回洗浄しての漂白を推奨していますが、施設によっては難しい場合もあります。当院外来化学療法室ではディスポーザブルのシーツを使っていますが、洗濯のコストに比べてディスポーザブルの方が安いこともありますので、こうしたものも検討されるとよいと思います。

製造販売元

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地

本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ

カスタマーサービス ☎ 0120-8555-90 FAX: 024-593-3281

bd.com/jp/

※先生方のご所属はご講演当時のものです。

© 2020 BD. BD、BDロゴおよびその他の商標はBecton, Dickinson and Companyが所有します。

SS-008-00

